

企画

まちづくりの原点について

Q

次の4点について伺う。
1 まちづくりの基本理念である「より美しい箱根」「よりやさしい箱根」「よりたくましい箱根」をこの10年間でどのように展開し、住民の満足度をどの程度あげることができたか

「保育園での保育時間延長や休日保育」などを行っている。また、健康と福祉のまちづくりとして、さくら館を拠点とした「健康づくり推進事業」や、成人病予防体制推進事業」などを行っているが、これらの事業については、好評をいただいているものと思っている。

4 点目について、箱根にとって大きな市場である「首都圏から近い」ため、短時間で訪れることができることから、「日帰り圏」化しており、その結果宿泊に結び付かないというメリットがデメリットとなっていることや、「どなたでも温かく迎える観光地づくり」を推進していく上で、「お客さまを受け入れる際の心」の部分での取り組みの充実を挙げる事ができるかと思う。

2

将来像である「彩り豊かな自然と文化が息づく交流の町 箱根」が最高峰にたどり着くために町民の意識を高め、かつ、行政運営を向上させる具体的な行為は

2 点目について、昨年度実施したまちづくり懇談会を定期的に開催し、さらに平成17年度予算には、「活力あるまちづくり支援事業」を新規事業とし、町民の皆さんの意識を高めてもらうとともに、行政として町民の自主的、主体的な活動をサポートするため

次に、観光振興を推進するための平成17年度の施策であるが、例年実施している東名・海老名サービスエリア等での観光展や町観光協会への委託による誘客宣伝、隔年実施している「箱根風景画展」の開催などに加え、平成17年度において、特に「は」とふる箱根推進事業、「観光情報推進事業」、「国際観光プロモーション実施事業」の3つの事業に力を注ぎ、観光地箱根の観光振興に努めていきたい。

3

「住む人にやさしい箱根」を持続させる住居環境のために、どのような自助努力を住民はすべきか

3 点目について、行政の役割としては、今まで以上に積極的な改革に取り組む必要がある一方、住民自治の推進のため、町民の行政への積極的な参加のほか、地域づくりや地域運営の意思決定への参加をお願いしたいと思っております。今後、住民主権や住民

3 点目について、県が管理している部分を町が管理委託することは可能であるが、それをさらに地元へ管理委託するということはできないという回答である。

4

箱根の観光振興にとってネックとなっている主な点はどこにあるのか、また、観光振興を推進するにあたり、平成17年度はどのような施策をとられているのか

1 点目について、少子化対策の一環である子育てにやさしいまちづくりとして「小児医療費助成事業」や「子育て支援事業」、

1 点目について、各種のサービス提供に際し、費用がかかるので、

企画

芦ノ湖周辺観光客用駐車場の無料化について



元箱根園地駐車場

Q

次の3点について伺う。
1 観光客の利便性を図り、もてなしの心

それをまかなうための最低限の経費負担はやむを得ないのではないかと思っており、芦ノ湖の公共駐車場についても、駐車場を適正に管理するための経費負担ということである。

2

元箱根園地内の4箇所の駐車場を地域活性化の視点からも、早期に無料開放する必要を感じるが

2 点目について、元箱根振興会等とのまちづくりに関しての打ち合わせの中で、園地内の駐車場の無料化のご意見もあつたので、県とも協議をしたが、まず管理主体の財団法人自然公園財団では、箱根だけを除外して無料にするとはできない。また、園地整備が終了したところから順次有料化することを基本にしているとのことである。

3

元箱根園地全体を所有者の国県より町が借り受け、これを地元へ管理委託することにより、地域に密着した観光地づくりを図っていくことについて

しかし、地元の皆さんの日ごろの観光地づくりの熱意は大変熱い思いも感じているので、さらに県とも協議を続けていきたいと思っております。

A

1 点目について、各種のサービス提供に際し、費用がかかるので、

しかし、地元の皆さんの日ごろの観光地づくりの熱意は大変熱い思いも感じているので、さらに県とも協議を続けていきたいと思っております。